

## 事業実施報告書

法人名	NPO法人ラパン
活動名	健康で文化的な生活を送るための体験学習事業
助成事業の種類	SDGs推進活動助成 人間分野
<b>事業の目的</b>	
NPO法人ラパンの事業が目的とするのは主に、子どもから大人まで幅広い世代へ、スポーツ活動・文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動等を通じて学ぶ喜びを提供し、文化的で豊かな人間社会を構築することです。	
そして、学校や地域社会で行われる活動において、経済的な格差を理由に社会的弱者が被る学ぶ機会の損失を補う活動および支援を目的とし、広く公益に寄与することを目的としています。	
<b>事業で取り組んだ地域や社会の課題</b>	
昨今、理数系離れが話題に多く上がります。そこで、NPO法人ラパンでは、体験型学習イベントを通じて身近に科学への興味を感じてもらうプログラムを開催しています。	
また、地域の老若男女が元気に健やかな毎日を過ごせるように、浮力効果・マッサージ効果・抵抗負荷など様々な利点のある水泳を通じて行う、水泳教室も開催しています。	
また普段の活動は、就学児以上の子供から大人までを対象としたプログラムを開催していますが、越谷市の主催する非営利団体の協働イベントにも参加し地域の文化レベル向上にも努めると同時に、プログラム参加者の交流の啓発を行い、地域交流の活性化に努めました。	
<b>取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果</b>	
水泳教室(月曜サークル 6/16、6/24、7/23、8/20、10/7、10/28、1/27、2/10) 基礎体力と水泳の基本技術の向上に向けた練習会 【受講者計 名】	
水泳教室(海練習 6/16、7/15、9/7) トライアスロンやOWSの大会出場を目指した海で泳ぐための基礎練習と海慣れのための練習会 【受講者計15名】	
本陣文化祭(6/30) 殺陣演舞・体験、化石発掘体験、ボーイスカウト体験、茶道体験、草加音楽院演奏会、水難事故対策講座、健康セミナー 【受講者 80名】	
火おこし体験&バームクーヘン作り(11/4) 摩擦式(きりもみ式等)や光学式(虫メガネ等)、化学式(スチールウールなど)様々な火おこしに挑戦して【受講者48名 いただきました。また、火おこしの後は焚き火の火でバームクーヘン作りにも挑戦しました。	
真珠のワークショップ(12/8) 真珠についての身近な話題や真珠養殖についての説明の後に、英虞湾(伊勢志摩産)のアコヤ貝から自分で真珠を取り出して アクセサリに加工しました。	
<b>事業実施により達成した成果の具体的な内容</b>	
R6年度の事業は、前(R5)年度と比較して、「スポーツ教室の企画及び運営事業」が延べ12回(前9回)・受益対象者数88人(前76人)、 「体験型学習イベントの企画及び運営事業」が延べ6回(前4回)・受益対象者数198人(前100人)となり、事業実数、受益対象者数ともに 大きく伸ばすことができました。	
更に、ラパンが予定していた事業の他に、スポーツ教室事業においてはチーム・ラパンとして吉川市の市民水泳大会へ参加し、チーム内の3人が 大会記録を更新する活躍をしました。	
また、体験型学習イベント事業では、昨年度までの地道な活動が評価され、越谷市市民活動センターからのオファーを受けて(採択事業期間外ですが)協働 企画へも参加しました。	

<b>費用面での工夫</b>
事業年度当初は、制作したチラシはポスティングの外注業者へ活動エリアに広く配布してもらう計画としていましたが、事業の開催数を積み上げてきた結果広い範囲へ万遍無くチラシをポスティングするよりも、イベント会場を中心としたエリアに集中してチラシ配布を行った方が効果率の高いことが分かったためポスティングを外注することに予算を使わず、外注費を減らした分、イベントの開催日近くに開催するイベントに特化したチラシを制作し、自らポスティングするように努めました。
また、各イベントに開催するエリアの教育委員会へ後援依頼を申請し、後援名義をチラシに記載することで、近隣の小学校へイベントの開催告知とともにNPO法人ラパンについての広報営業も行い、チラシへの信頼度と費用対効果のアップを図りました。
<b>地域社会への還元</b>
NPO法人ラパンは、文化事業やスポーツ事業を通じて、子供から高齢者まで幅広い世代へ、地域住民一人ひとりの生活を豊かにすることで、地域社会全体を活性化することで貢献しています。具体的な例は下記の通りです。
・化石のキャストモデル作り、コパール磨き、化石クリーニングなど、子供たちが自然科学に触れ、学ぶ機会を提供しています。
・水泳練習会などを開催し、子供から高齢者まで、様々な世代に合わせたプログラムによって、体力向上や健康増進に貢献しています。
・地域のお祭りやイベントに積極的に参加し、地域住民同士の交流を促進しています。
<b>今後どのように事業を継続し発展させるか</b>
まだまだNPO法人ラパンの知名度と活動内容の周知度は低い状態ですが、各種プログラムを開催する度に新規の参加者を得ることが出来る様になりました。
また、リピートしてくれる参加者も増えてきたことから、プログラムの内容とイベントの開催認知度が上がれば、今後も参加者数のアップが期待できる状況です。
このことから、NPO法人ラパンの活動地域内では、「子供から大人まで、健康で文化的な生活をサポートする」というラパンの志すテーマの事業に需要があると、考えられることから、既存の活動内容をさらに充実させ、利用者の方々にとってより質の高いサービスを提供することを目指します。
そのために、NPO法人の活動を支えるスタッフのスキルアップは重要であり、組織の持続的な発展に不可欠と考え、スタッフの勉強会などを実施していこうと思います。

## 事業収支計算書

法人名 NPO法人ラパン

### 1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	474,000	306,000	△ 168,000	
自己資金	214	172	△ 42	
活動実施による収入等	219,500	141,100	△ 78,400	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	693,714	447,272	△ 246,442	

### 2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	36,500	30,797	△ 5,703	
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	91,000	32,060	△ 58,940	
消耗品費	193,807	145,875	△ 47,932	
備品費	0	0	0	
委託費	290,307	167,720	△ 122,587	
謝金	0	0	0	
人件費	81,000	51,500	△ 29,500	
その他	1,100	19,320	18,220	
支出の部 合計	693,714	447,272	△ 246,442	